

第6章 ヒアリング調査

第6章 ヒアリング調査

海面最終処分場管理者へのヒアリング調査を3事業者対象に実施した。

3事業者へのヒアリングは、水位などの維持管理面や保有水等排水設備の状況などを主たる内容とし、以下の21項目を中心に実施した。

ヒアリングに際しては、現地確認調査も同時に実施した。

ヒアリング結果を基に改善点や問題点の抽出を行う。

- (ア) 水位等の維持管理方法、保有水等集排水設備の状況
- (イ) 適用する閉鎖・廃止基準の考え方
- (ウ) 公有水面埋立法の竣工に対する考え方

ヒアリング調査は、以下の3事業者にお願いした。

- (1) 宇部市環境部環境保全センター（東見切一般廃棄物処分場）
- (2) 川崎市環境局施設処理計画課（浮島1期廃棄物埋立処分場）
- (3) 大阪湾広域臨海環境整備センター（尼崎沖処分場）

6.1 ヒアリング項目

事業者へ主なヒアリング項目は、下表に示すとおりとした。

表 6.1.1 ヒアリング項目一覧表

項目 番号	ヒアリング項目と概要
1	埋立て免許を取得した年月日
2	埋立履歴の残し方（搬入廃棄物データと埋立位置のイラスト、航空写真等）
3	保有水等集排水設備の有無と設置の考え方（集排水の対象領域、水平分布の考え方）
4	管理水位の設定方法（考え方）
5	内水ポンドの有無と形状、形成過程 残留水面が縮小してできた、当初から位置を選定し計画的に形成した等。 内水ポンド周辺部に安定性の確保等に留意した点があるか。
6	浸出水処理設備の運転予定（いつまで運転予定か）
7	余水吐きの形状と位置。その決定根拠。
8	一部閉鎖の考え方
9	廃止に係るモニタリング項目の問題点
10	保有水等原水の確認位置
11	保有水質の観測に際し、観測孔（井戸）で採水して分析する場合は、どの深度の保有水を採水しているか。 （例えば、保有水位面付近、廃棄物層全体から網羅的に採水している等。）
12	湧出ガスのモニタリング方法
13	内部温度（保有水温度を含む）測定上の課題
14	沈下量の測定
15	竣功の定義と竣功検査方法
16	閉鎖・廃止後のモニタリングは、どちらが主体でやっているか。 維持管理項目；廃止基準項目；管理水位；
17	地下水、周辺海域のモニタリング状況
18	管理水位・埋立高を管理している標高（DL等）とTP（海拔）との関係
19	保有水位（廃棄物層内の水位）の観測結果。（保有水位と潮位との関連性。）
20	水平方向の遮水性能の確認実績。下部遮水層（在来地盤の難透水層等）の決定根拠。
21	排水処理後の放流水の排水基準（処分場で設定しているもの）
22	年間の放流量と年間降水量の関係データ。（表面流出水が無処理で放流している場合はその放流量。）
23	覆土施工完了後の植性状況とその管理計画
24	覆土の施工に際し、降雨の浸透を抑制し、保有水の増加を防止することを意図しているか。
25	遮水護岸（水平遮水工）の設計思想（遮水護岸の構造決定の考え方）。

6.2 結果

ヒアリング結果を次表に示す。

